



吾妻下五十三驛

大總
六冊



口中御藥 固齒散
 大包代百銅
 小包代三十一銅
 一ぬきを 一とくまを 一うみ血
 一ぬいづる 一とくまを
 能。用ひやうのうあふくおまうい

此の薬は...
 粉の...
 方...
 清浄 白妙 世銅
 精製
 白くあるふゆたの

寝小便大奇薬 一包代
 三百銅
 夕や...
 夕や...
 夕や...



六冊内

無病 養生手引草
 長壽
 京山翁著
 廣重画

美玉百人一首 中本形 全一冊
 紅梅百人一首 半紙本 全一冊

離鶴笹湯壽
 女中用文玉手箱 中本形
 京家翁著

敵討白石新 全二冊
 伊賀越敵討物語 全二冊
 芳庸画録

頼三并賣我神垣 三編種
 讀以

新板端...

吾嬬下五十三驛三編

王塵園雲住作
一猛齋芳虎画



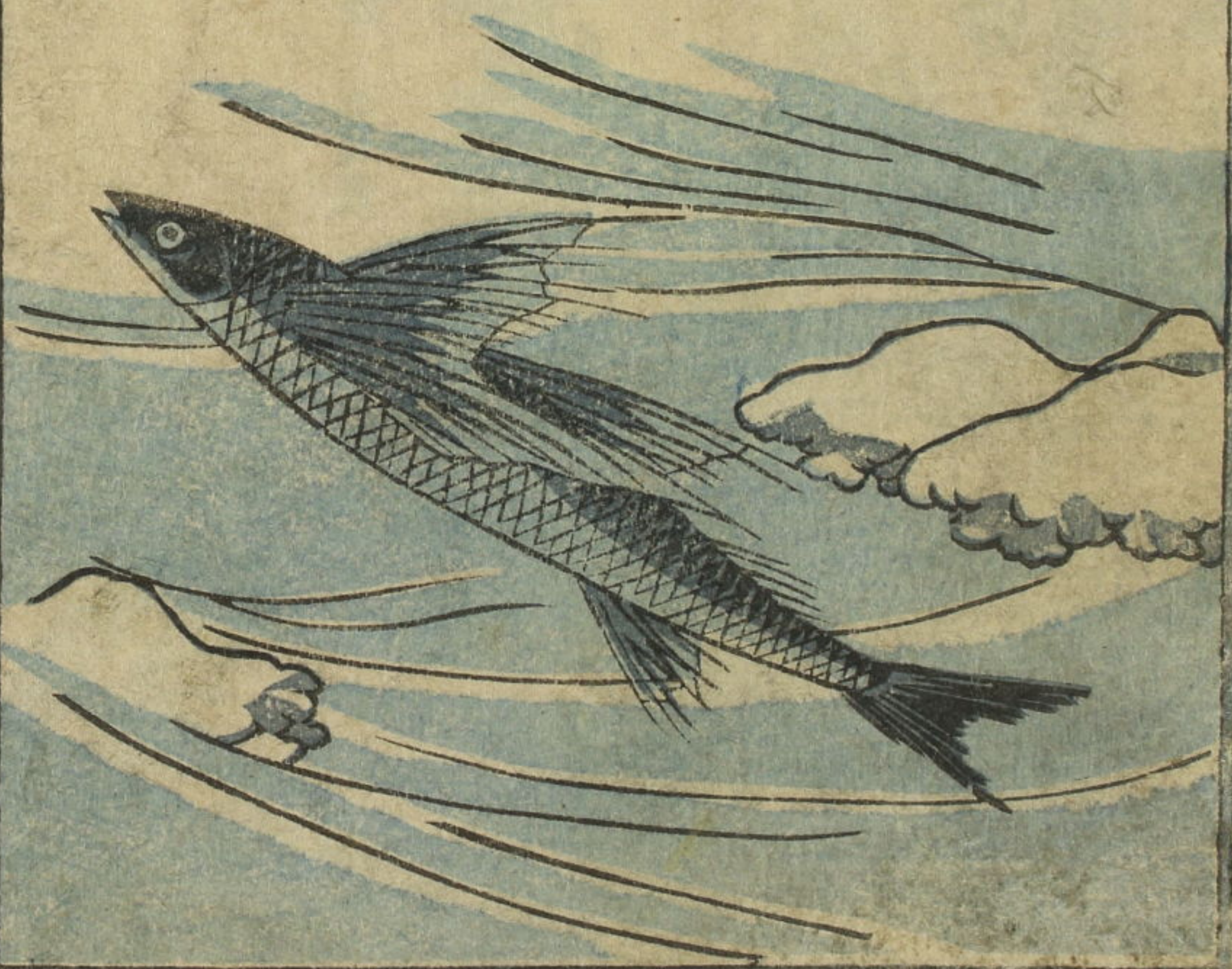
上

吾孀下五十
三驛三編下

雪住作

芳虎画

甲寅仲秋
新鑄



巳卯孟春新刻

吾孀下五十二驛之編序

此編より行かん編の催促急なり

五十二驛十日路なり急なる

飛脚のやうな文章もなる

墨子前後より先んずる

海より海乃難船場も抄の

業名の段より濱松も

船路もさうどほり息札の

もあへばちよりと序文を記さる

真八

玉塵園雪住

印



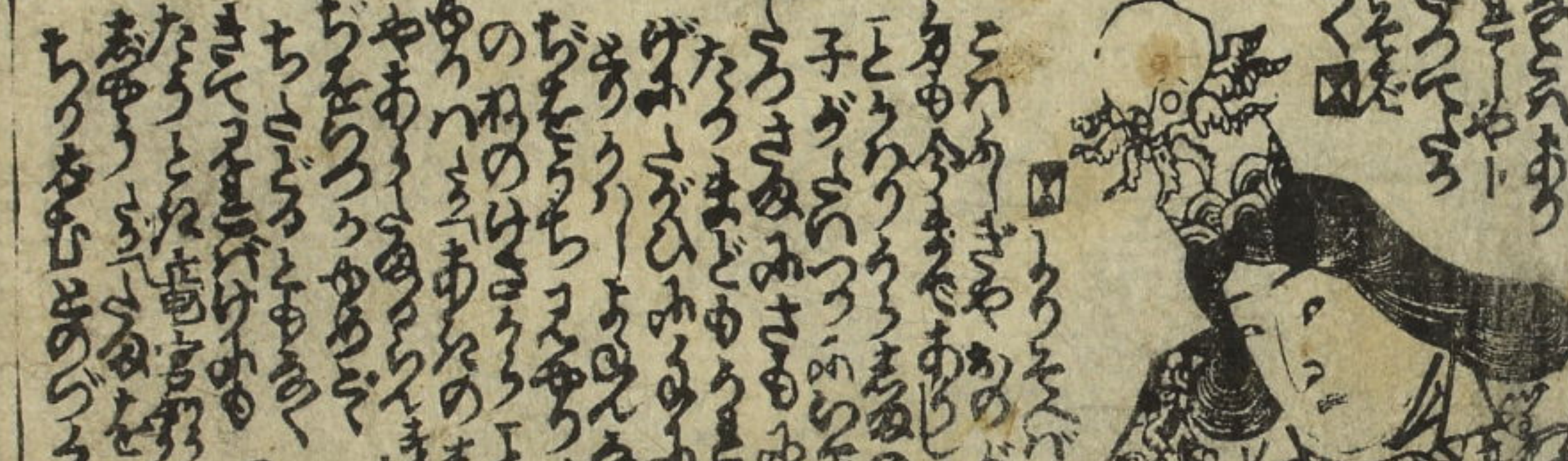
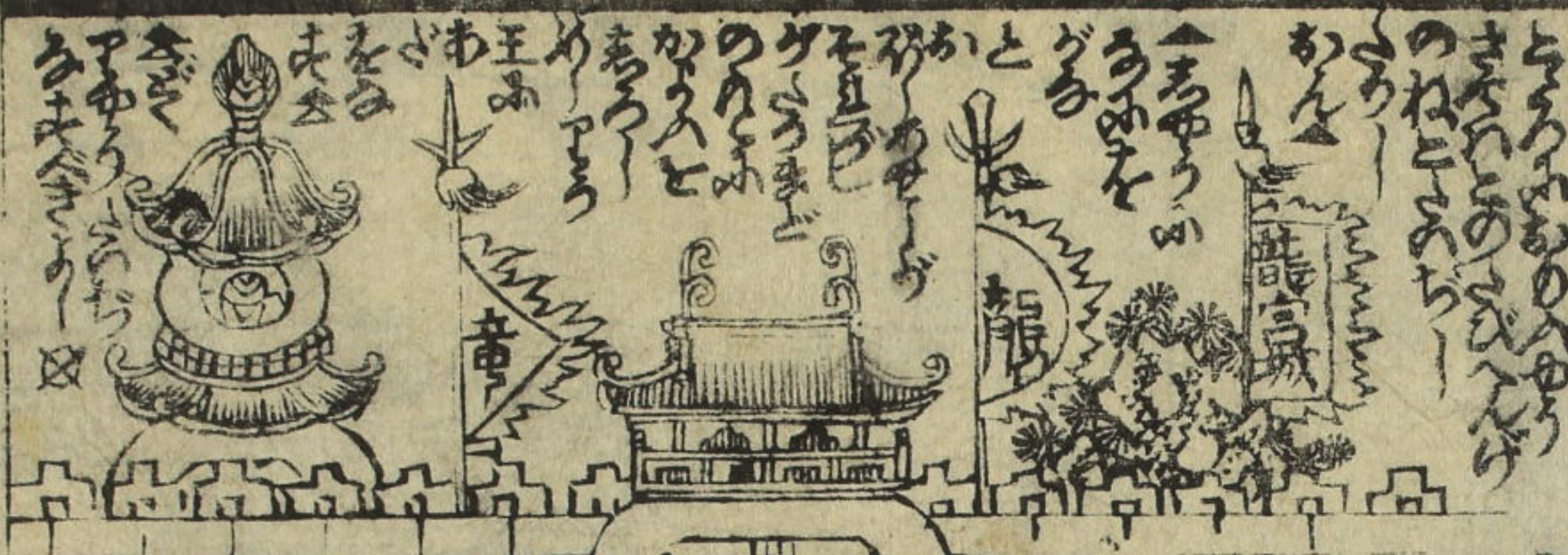
雲
とらふ
時雨
作者
玉塵園

北茶
荒浪
主

北茶の家
老の
成澤隼人

江戸
土産

隼人の男
成澤左門之助

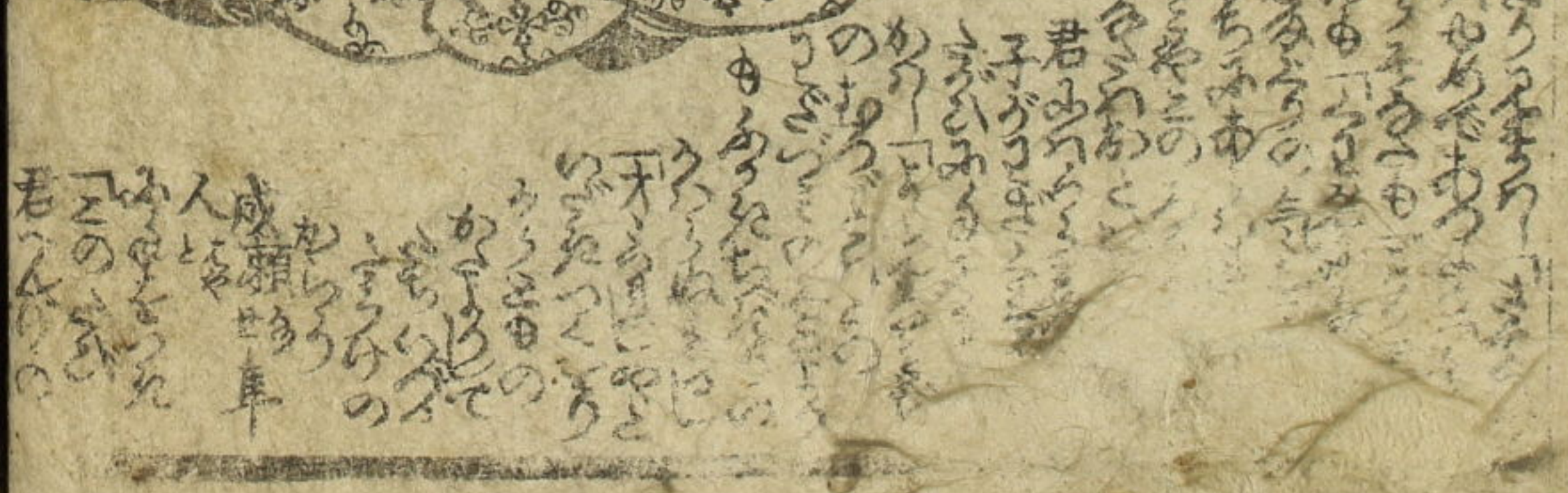
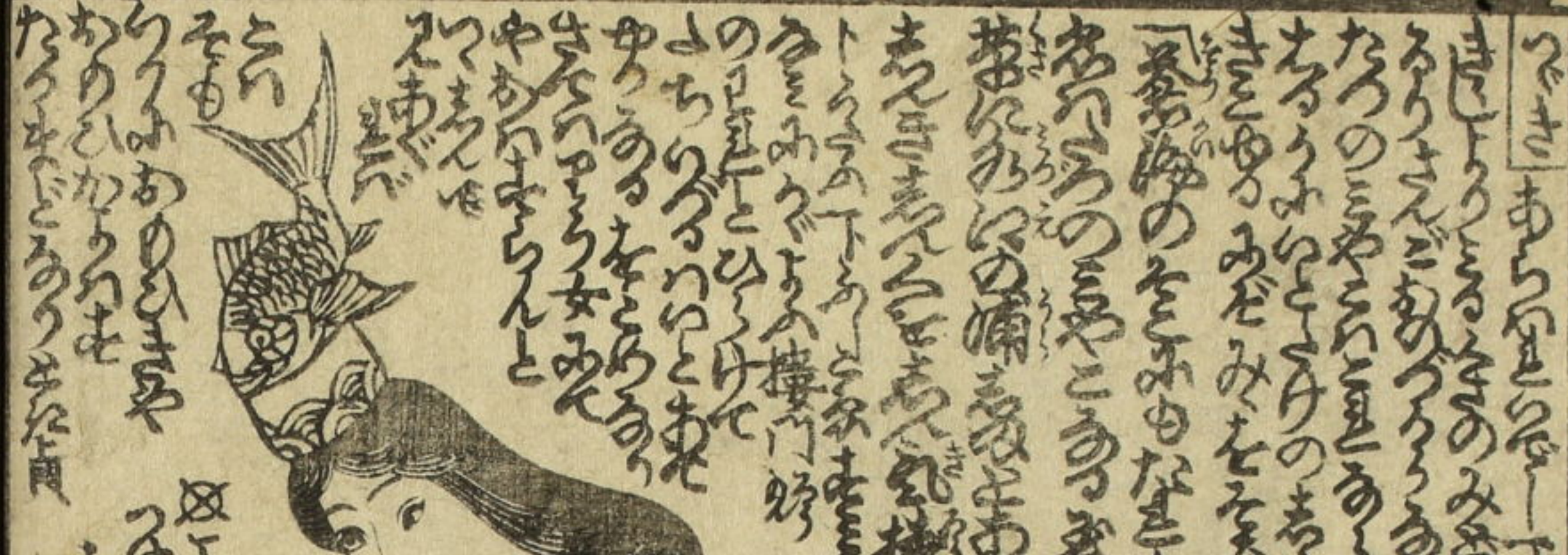


とらふふのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまいぢり
とらふふのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまいぢり

あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり

あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり

あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり



あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり

あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり

あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり

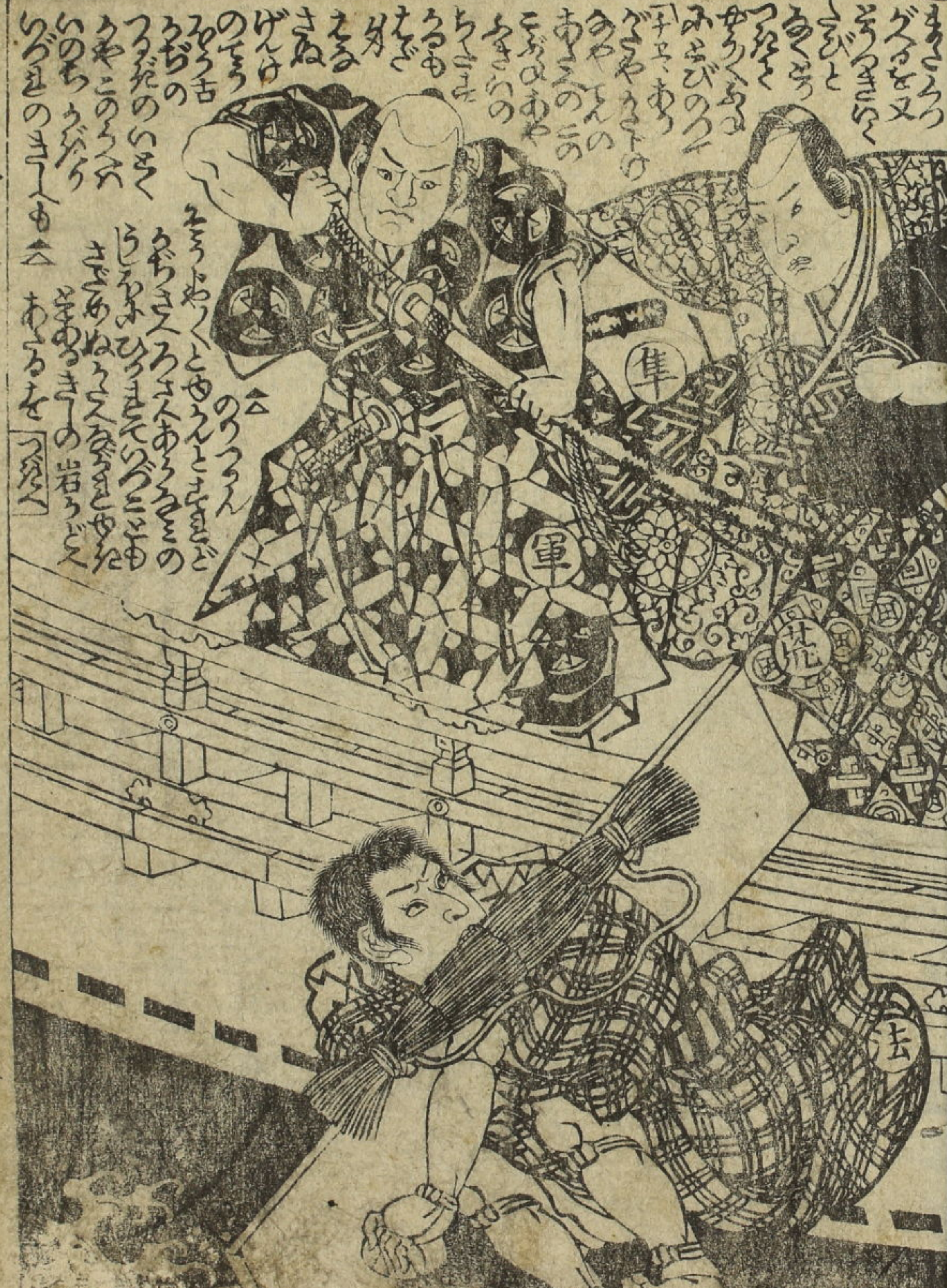
あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり
まきいひのいぢり
のねいぢり
かろいぢり
あまのいぢり



夫のきりあ
うそめくさ
あんなあんな
とあめあめ
がまんぞう
いふとあ
しんあま
このあま



夫のきりあ
うそめくさ
あんなあんな
とあめあめ
がまんぞう
いふとあ
しんあま
このあま



此の元刀とが... 川の上... 三河...
 左の... 右の...
 此の... 元刀...
 川の上... 三河...
 左の... 右の...
 此の... 元刀...
 川の上... 三河...



此の... 元刀...
 川の上... 三河...
 左の... 右の...
 此の... 元刀...
 川の上... 三河...

此の... 元刀...
 川の上... 三河...
 左の... 右の...
 此の... 元刀...
 川の上... 三河...



此の... 元刀...
 川の上... 三河...
 左の... 右の...
 此の... 元刀...
 川の上... 三河...

玉塵園雪佳作

ついでに... 玉塵園雪... 佳作... 天日坊と名を... 玉塵園雪... 佳作... 天日坊と名を... 玉塵園雪... 佳作... 天日坊と名を...



一猛齋芳虎画

家本 **實母散** 中橋 南傳馬町二丁目東側 千葉堂孝輔製
 私方実母さん... 中橋... 南傳馬町二丁目東側... 千葉堂孝輔製... 萬屋吉藏

御免 痲積湯 せんきの妙茶
 御用薬所 信州上田東山堂製

せんきの妙茶 萬屋吉藏

毎る... 七のちり... 一袋... 御茶... 白美... 一色...
 せいの香... 廿四文... 同為... 乃... 一色...
 せいの香... 廿四文... 同為... 乃... 一色...

